



作成日: 2019/07/23

改訂日: 2023/03/02

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: パラホルムアルデヒド

SDS No.: 6161-3

推奨用途及び使用上の制限

試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: キシダ化学株式会社

住所: 大阪市中央区本町橋3-1

担当部署: 化学品安全管理統括部

電話番号: (06)6946-8061

FAX: (06)6946-1607

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体: 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

可燃性固体

飲み込むと有害

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害(呼吸器)

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策



- 環境への放出を避けること。
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

- 燃えやすい固体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:
化学物質

成分名	成分名[別名]	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化審法
パラホルムアルデヒド	-	91-93(ホルムアルデヒドとして)	30525-89-4	9-1941	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

不純物

- メタノール 0.50% (CAS No.67-56-1)
- ホルムアルデヒド 0.10% (CAS No.50-00-0)
- 水 6.4-8.4% (CAS No.7732-18-5)

危険有害成分

- 毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分
パラホルムアルデヒド(劇物成分:ホルムアルデヒド)
- 安衛法「表示すべき有害物」該当成分
メタノール, ホルムアルデヒド
- 安衛法「通知すべき有害物」該当成分
メタノール, ホルムアルデヒド
- 化管法(令和5年3月31日まで有効)「特定第1種指定化学物質」該当成分
ホルムアルデヒド
- 化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分



パラホルムアルデヒド
化管法(令和5年4月1日施行)「特定第1種指定化学物質」該当成分
ホルムアルデヒド

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

粉末消火設備—その他のもの(りん酸塩類等、炭酸水素塩類等 以外)
消火粉末を放射する消火器—その他のもの(りん酸塩類等、炭酸水素塩類等 以外)
※消防法指定可燃物: 施行令別表第2(第10条関係) 参照

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。



7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10.安定性及び反応性」参照

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管する。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

ガラス

ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(メタノール)

作業環境評価基準(1995) <= 200ppm

(ホルムアルデヒド)

作業環境評価基準(2007) <= 0.1ppm

許容濃度

(メタノール)

日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m³

(ホルムアルデヒド)

日本産衛学会(2007) 0.1ppm, 0.12mg/m³; (最大許容濃度) 0.2ppm, 0.24mg/m³

(メタノール)

ACGIH(2009) TWA: 200ppm;

STEL: 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)

(ホルムアルデヒド)

ACGIH(2017) TWA: 0.1ppm;

STEL: 0.3ppm (上気道及び眼刺激; 上気道がん)

特記事項

(メタノール)



皮膚吸収
(ホルムアルデヒド)
皮膚感受性; 呼吸器感受性

OSHA-PEL

(メタノール)

TWA: 200ppm, 260mg/m³

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所を取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粒状

色：白色

臭い：刺激臭

融点/凝固点：(decomposes) 120 through 180°C

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：7.0 vol %

爆発上限：73.0 vol %

引火点：(パラホルムアルデヒド)71°C

自然発火点：(パラホルムアルデヒド)300°C

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶けない

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧：< 0.2 kPa (25 °C)

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)：1.03

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

(パラホルムアルデヒド)

粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。乾燥状態では、攪拌、圧気輸送、



注入などにより、静電気を帯びることがある。
加熱や酸、塩基および酸化剤との接触により、分解する。引火性のホルムアルデヒドを生じる。
(ICSC 0767)

避けるべき条件

混触危険物質との接触。
火源との接触。

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質

危険有害な分解生成物

ホルムアルデヒド

11. 有害性情報**毒性学的影響に関する情報****急性毒性****急性毒性(経口)****[成分データ]**

[日本公表根拠データ]
(パラホルムアルデヒド)
rat LD50=800mg/kg (Canada CMP, 2019)
(メタノール)
human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)
(ホルムアルデヒド)
rat LD50=600-700mg/kg, 800mg/kg (SIDS, 2003)

急性毒性(経皮)**[成分データ]**

[日本公表根拠データ]
(パラホルムアルデヒド)
rabbit LD50=10000mg/kg (Canada CMP, 2019)
(メタノール)
rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)
(ホルムアルデヒド)
rabbit LD50=270mg/kg (HSDB, Access on Jun. 2017)

急性毒性(吸入)**[成分データ]**

[日本公表根拠データ]
(パラホルムアルデヒド)
dust: rat LC50=1.07mg/L/4hr (Canada CMP, 2019)
(メタノール)
vapor:rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)
(ホルムアルデヒド)
gas: rat LC50=480ppm/4hr (SIDS, 2003)

労働基準法: 疾病化学物質

ホルムアルデヒド; メタノール

局所効果**皮膚腐食性/刺激性****[成分データ]**

[日本公表根拠データ]
(パラホルムアルデヒド)
皮膚刺激性物質 (Canada CMP, 2019)
(ホルムアルデヒド)
ヒト 皮膚刺激性 (ATSDR Addendum, 2010); EU CLP Skin Corr. 1B (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性



[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(パラホルムアルデヒド)
眼刺激性物質 (Canada CMP, 2019)
(メタノール)
ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)
(ホルムアルデヒド)
ヒト/ラビット 眼刺激性 (EHC 89, 1989)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(ホルムアルデヒド)
cat. 1; 日本産業衛生学会 気道第2群 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2007); CICAD 40, 2002;
DFGOT, 2014, Access on Jun. 2017

皮膚感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(ホルムアルデヒド)
cat. 1; 日本産業衛生学会 皮膚第1群 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2007); EU CLP Skin Sen
s. 1 (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(ホルムアルデヒド)
cat.1A; IARC Gr.1 (IARC 100F, 2012); NTP K (NTP RoC, 14th, 2016); ACGIH A1 (ACGIH 7th, 2017)
[IARC]
(ホルムアルデヒド)
Group 1 : ヒトに対して発がん性がある
[ACGIH]
(ホルムアルデヒド)
A1(2017) : 確認されたヒト発がん性因子
[日本産衛学会]
(ホルムアルデヒド)
第2群A: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
[EU]
(ホルムアルデヒド)
Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(メタノール)
cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]
(パラホルムアルデヒド)
呼吸器 (AICIS IMAP, 2019)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]



(メタノール)
麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(パラホルムアルデヒド)

魚類(ブルーギル) LC50=39.1mg/L/96hr (EPA ACQUIRE 2018 et al.)

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ホルムアルデヒド)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=2mg/L/24hr (WHO EHC, 1989)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ホルムアルデヒド)

甲殻類(ニセネコゼミジンコ) NOEC(生残率)=1.0mg/L/7days (NICNAS PEC, 2006)

水溶解度

(パラホルムアルデヒド)

溶けにくい(ICSC, 2006)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSROP_DB, 2009)

(ホルムアルデヒド)

混和する(ICSC, 2012)

残留性・分解性

[成分データ]

(ホルムアルデヒド)

急速分解性あり(BODによる分解率:91%(化審法DB, 1989))

生体蓄積性

[成分データ]

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(ホルムアルデヒド)

log Pow=0.35 (PHYSROP_DB, 2005)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類



- 国連番号またはID番号 : 2213
- 正式輸送名 :
 - パラホルムアルデヒド
- 分類または区分 : 4.1
- 容器等級 : III
- 指針番号 : 133
- 特別規定番号 : 223
- IMDG Code (国際海上危険物規程)
 - 国連番号またはID番号 : 2213
 - 正式輸送名 :
 - パラホルムアルデヒド
 - 分類または区分 : 4.1
 - 容器等級 : III
 - 特別規定番号 : 223; 967
- IATA (航空危険物規則書)
 - 国連番号またはID番号 : 2213
 - 正式輸送名 :
 - パラホルムアルデヒド
 - 分類または区分 : 4.1
 - 危険性ラベル : Flamm.solid
 - 容器等級 : III
 - 特別規定番号 : A3; A803
- 環境有害性
 - 海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当
- 国内規制がある場合の規制情報
 - 船舶安全法
 - 可燃性物質類 可燃性物質 分類4 区分4.1
 - 航空法
 - 可燃性物質類 可燃性物質 分類4 区分4.1

15. 適用法令

- 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
- 毒物及び劇物取締法
 - 劇物(令第2条)
 - パラホルムアルデヒド(劇物成分:ホルムアルデヒド)(法令番号 97)
- 労働安全衛生法
 - 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
 - 名称表示危険/有害物
 - メタノール(別表第9の560); ホルムアルデヒド(別表第9の548)
 - 名称通知危険/有害物
 - メタノール(別表第9の560); ホルムアルデヒド(別表第9の548)
 - 変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]
 - パラホルムアルデヒド
- 化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)
 - 特定第1種指定化学物質
 - ホルムアルデヒド[ホルムアルデヒド(特1-411)]
- 化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)
 - 第1種指定化学物質
 - パラホルムアルデヒド[パラホルムアルデヒド(管理番号699)]
 - 特定第1種指定化学物質
 - ホルムアルデヒド[ホルムアルデヒド(管理番号411)]
- 消防法
 - 指定可燃物



可燃性固体類(数量 3,000kg)
化審法
優先評価化学物質
ホルムアルデヒド
大気汚染防止法
揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項
メタノール; ホルムアルデヒド
有害大気汚染物質/優先取組
ホルムアルデヒド
特定物質 政令第10条第1号から第28号
メタノール; ホルムアルデヒド

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。